

公安委員会定例会議(第6回)の開催状況

第1 日 時 令和4年3月2日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時50分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、警務部長、首席監察官、交通部長、警備部長、
情報通信部長、総務課長、生活安全企画課長、
組織犯罪対策課長、警察学校副校長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

ロシアによるウクライナ侵攻や、トヨタ関連企業へのサイバー攻撃など、経済への悪影響が懸念される数々の事象が発生していますが、何とか乗り切っていきたいものです。

今日は、「日々決算」について述べます。京セラの稲森和夫会長は、その著書で、「経営とは、大企業であれ中小企業であれ、日々の数字の集積である」、「月末の損益計算書を見て経営を行うのではない。毎日のオペレーションの積み上げで月次の損益計算書が作られるから、日々損益計算書を作っているという実感を持って経営にあたるべき」、「毎日の数字を見ないで経営を行おうとすれば、計器を見ないで飛行機を操縦するのと同じで、どこに飛んでどこに着陸するか分からなくなる」などと記しています。

私が今の会社の社長に就任した頃は、月次決算を行っていましたが、各担当からの関係書類等の提出が期日に揃わず、月締めができないということもしばしばありました。この決算方法について改善すべく、時には経理担当と激論を交わしながら、日々決算ができるシステム作りを進めたところ、現状を的確に把握できるようになるとともに、問題発生時の迅速な対応が可能となり、業績は向上していきました。

警察業務においても、参考となる部分はあるかと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第5回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 愛媛県警察本部組織規則の改正

警務部から、愛媛県警察本部の組織規則の改正について伺いがあり了承した。

(3) 令和4年度組織別定数の策定

警務部から、令和4年度組織別定数の策定について伺いがあり了承した。

- (4) 愛媛県警察の交番等の名称、位置及び所管区に関する規則の改正
警務部から、愛媛県警察の交番等の名称、位置及び所管区に関する規則の改正について伺いがあり了承した。
- (5) 禁止命令実施結果
生活安全部から、禁止命令実施結果について伺いがあり了承した。
- (6) 令和4年度少年補導員の委嘱
生活安全部から、令和4年度少年補導員の委嘱について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和4年度警察官（大学卒）の採用募集活動

警務部長から、令和4年度警察官（大学卒）の採用募集活動（試験日程、広報活動等）について報告があった。

委員から、「採用のプロモーションビデオは、職員が本音で話しているのがよく伝わり、とても親しみを覚えるものである。また、パンフレットも、ワークライフバランスなどもふんだんに取り入れており、よい仕上がりであると感じた。これらを有効に活用することにより、受験者数の増加につなげてもらいたい」との発言があった。

委員から、「民間でも、“就職することによりこのような資格を取ることができる”ことを売りに採用募集に努めている会社もある。パンフレットにも、研修内容を盛り込んでおり、学生等に興味をひかせる内容となっていると思う。是非有効活用してもらいたい」との発言があった。

委員から、「女性の採用増加に向け、引き続き努力していただきたい」との発言があった。

(2) 女性向け公安4機関（警察・消防・自衛隊・海保）合同のオンライン職業説明会の実施

警務部長から、2月13日（日）、4機関（警察・消防・自衛隊・海保）が女性向けの採用募集活動の一環として実施した、合同のオンライン職業説明会の概要等について報告があった。

委員から、「女性は、産休を取る場合もあるが、様々なサポートを行うなど、働きやすい環境づくりを進めていただきたい」との発言があった。

委員から、「いろいろな人の意見を聞きつつ、様々な催しを積極的に行ってもらいたい」との発言があった。

委員から、「受験者の中には、体力面など様々な不安を抱えている者もいると思う。これら不安を丁寧に取り除きつつ、優秀な人材を多数集

めてもらいたい」との発言があった。

(3) 高度化P I C Sの運用開始

交通部長から、スマートフォンを利用して信号情報の提供を行う「高度化P I C S (歩行者等支援情報通信システム)」について、3月17日(木)から運用を開始する旨報告があった。

委員から、「交差点を安全に進行するのに役立つシステムだと思う」との発言があった。

委員から、「交差点内での歩行者等事故の絶無に向け、引き続き、各種取組を推進してもらいたい」との発言があった。

委員から、「よいシステムであり、有効活用を図ってもらいたい」との発言があった。

(4) 人事案件

警務部から、人事案件について報告があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(6) 令和4年全国優秀警察職員被表彰者の決定

警務部から、令和4年全国優秀警察職員被表彰者の決定について報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、警察業務においても、例えば三交代制勤務を行っているところなど、日々決算マインドを持つべき部署もあり、1日1日の成果を大事にしていきたい」、「ロシアによるウクライナ侵攻は世界の安全保障上の問題であるが、県内においても関連施設への嫌がらせ等が行われることのないよう警戒を強化している。また、在外県人が何らかの事案に巻き込まれるなどの重大な事態に至った場合、国外犯規定により愛媛県警察も対応することもあり得る。したがって、動向について注視をしているところである」、「採用活動は一朝一夕には成果が出ず、組織を挙げて対応する必要がある。警察官という職業は、その特殊性から、受験者に敷居が高いと思われるかもしれないが、動画やパンフレットを有効に活用し、受験者に、採用5～10年後の姿をイメージしてもらったり、親しみを持ってもらうことにより、受験者の増加につながるよう取り組んでいきたい」との発言があった。

(以上)